

第24号議案 大田区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める  
条例の一部を改正する条例

1 改正理由

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、本条例の一部を改正する。

2 改正内容（案）

新旧対照表のとおり

3 施行予定年月日

令和5年4月1日から施行する。ただし、第13条の改正規定は、公布の日から施行する。

大田区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例（平成26年条例第38号）

新旧対照表

新	旧
<p>○大田区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例 平成26年9月30日 条例第38号 改正 令和5年 月 日第 号</p> <p>第1条から第7条まで（略） <u>（安全計画の策定等）</u></p> <p>第7条の2 家庭的保育事業者等は、利用乳幼児の安全の確保を図るため、家庭的保育事業所等ごとに、当該家庭的保育事業所の設備の安全点検、職員、利用乳幼児等に対する事業所外での活動、取組等を含めた家庭的保育事業所等での生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修及び訓練その他家庭的保育事業所等における安全に関する事項についての計画（以下この条において「安全計画」という。）を策定し、当該安全計画に従い必要な措置を講じなければならない。</p> <p>2 家庭的保育事業者等は、職員に対し、安全計画について周知するとともに、前項の</p>	<p>○大田区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例 平成26年9月30日 条例第38号</p> <p>第1条から第7条まで（略） <u>（新設）</u></p>

新	旧
<p><u>研修及び訓練を定期的</u>に実施しなければならない。</p> <p>3 <u>家庭的保育事業者等は、利用乳幼児の安全の確保に関して保護者との連携が図られるよう、保護者に対し、安全計画に基づく取組の内容等について周知しなければならない。</u></p> <p>4 <u>家庭的保育事業者等は、定期的に安全計画の見直しを行い、必要に応じて安全計画の変更を行うものとする。</u></p> <p><u>(自動車</u>を運行する場合の所在の確認)</p> <p>第7条の3 <u>家庭的保育事業者等は、利用乳幼児の事業所外での活動、取組等のための移動その他の利用乳幼児の移動のために自動車</u>を運行するときは、<u>利用乳幼児の乗車及び降車の際に、点呼その他の利用乳幼児の所在を確実に把握することができる方法により、利用乳幼児の所在を確認しなければならない。</u></p> <p>2 <u>家庭的保育事業者等(居宅訪問型保育事業者を除く。)</u>は、<u>利用乳幼児の送迎を目的とした自動車(運転者席及びこれと並列の座席並びにこれらより一つ後方に備えられた前向きの座席以外の座席を有しないものその他利用の態様を勘案してこれと同程度に利用乳幼児の見落としのおそれが少ないと認められるものを除く。)</u>を日常的に運行するときは、<u>当該自動車にブザーその他の車内の利用乳幼児の見落としを防止する装置を備え、これを用いて前項に定める所在の確認(利用乳幼児の降車の際に限る。)</u>を行わなければならない。</p> <p>第8条及び第9条 (略)</p> <p>(他の社会福祉施設等を併せて設置するときの設備及び職員の基準)</p> <p>第10条 <u>家庭的保育事業所等は、他の社会福祉施設等を併せて設置するとき</u>は、<u>その行う保育に支障がない場合に限り、必要に応じて、当該家庭的保育事業所等の設備及び職員の一部を併せて設置する他の社会福祉施設等の設備及び職員に兼ねることができる。</u></p>	<p>(新設)</p> <p>第8条及び第9条 (略)</p> <p>(他の社会福祉施設等を併せて設置するときの設備及び職員の基準)</p> <p>第10条 <u>家庭的保育事業所等は、他の社会福祉施設等を併せて設置するとき</u>は、<u>必要に応じて、当該家庭的保育事業所等の設備及び職員の一部を併せて設置する他の社会福祉施設等の設備及び職員に兼ねることができる。ただし、保育室及び各事業所に特有の設備並びに利用乳幼児の保育に直接従事する職員については、この限りでな</u></p>

新	旧
<p>第11条及び第12条 (略)</p> <p><u>(削除)</u></p> <p>第13条 <u>削除</u></p> <p>(衛生管理等)</p> <p>第14条 (略)</p> <p>2 家庭的保育事業者等は、家庭的保育事業所等において感染症又は食中毒が発生し、又はまん延しないように、<u>職員に対し、感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための研修並びに感染症の予防及びまん延の防止のための訓練を定期的実施するよう努めなければならない。</u></p> <p>3から5まで (略)</p> <p>第15条から第50条まで (略)</p> <p>別表第1及び第2 (略)</p> <p><u>付 則</u></p> <p><u>この条例は、令和5年4月1日から施行する。ただし、第13条の改正規定は、公布の日から施行する。</u></p>	<p><u>い。</u></p> <p>第11条及び第12条 (略)</p> <p><u>(懲戒に係る権限の濫用禁止)</u></p> <p>第13条 <u>家庭的保育事業者等は、利用乳幼児に対し、法第47条第3項の規定により懲戒に関しその利用乳幼児の福祉のために必要な措置を採るときは、身体的苦痛を与え、人格を辱める等その権限を濫用してはならない。</u></p> <p>(衛生管理等)</p> <p>第14条 (略)</p> <p>2 家庭的保育事業者等は、家庭的保育事業所等において感染症又は食中毒が発生し、又はまん延しないように<u>必要な措置を講じなければならない。</u></p> <p>3から5まで (略)</p> <p>第15条から第50条まで (略)</p> <p>別表第1及び第2 (略)</p>